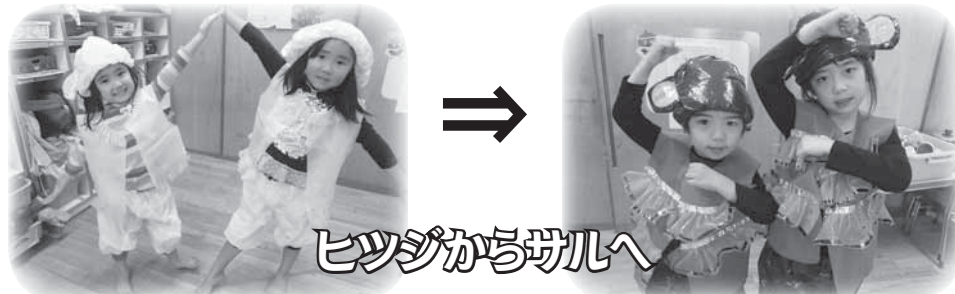


	発行 社会福祉法人 路交館広報部
	発行責任者 枝本 信一郎
	編集 あいどる編集委員会(樫本)
	〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5
	TEL06-6321-3955 FAX06-6325-6320
	ホームページアドレス http://www.rokoukan.or.jp
	掲載の写真はアンケートに基づき掲載しています。



明けましておめでとうございます。路交館理事長 枝本 信一郎

新しい年が皆様にとって、明るい未来へとつながる年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、旧年(2015年)は、特別な記念行事等を行ったわけではありませんが、路交館として40周年の年でした。日本キリスト教団大阪淡路教会付属の幼稚園であった聖愛園が、新たに社会福祉法人路交館を創立し、保育所聖愛園として再出発したのが、1975年4月1日だったのです。

なぜ幼稚園から保育所になったのか?それには「障害児保育を続けるため」と「よりしんどい親と子に寄り添うため」という大きく二つの理由がありました。

前者は、1972年に初めての障害児2名の受入を行ったものの、補助の無いままで障害児保育を続けることに非常な困難を感じるようになっていたのですが、ちょうどこの頃、大阪市の保育所制度で、障害児保育の補助制度が初めて作られたのです。大阪市内の民間保育所何園かを指定して障害児保育の補助を行うという制度で(保育所聖愛園の開設時で指定園は11か所でした)、聖愛園としてこの制度を利用することにしたのです。

後者は、当時の(旧)聖愛園はエリート幼稚園と地域の方々から評価されていたのですが、「このままで良いのか?」との議論が淡路教会の中で出てきたことからの選択でした。40年前の当時は、まだまだ保育所は貧困対策のためと思われ、親(特に母親)は「生活のためには仕方がない」との負い目を持って子どもを保育所に預けて働きに出ていき、保育所に預けられた子どもは世間の人々から「かわいそうな子」と見られることで、自己肯定感を育みにくい状況におかれていました。このような状況の中で、聖愛園が*「地の塩」としての役割を果たしていくためには、これまでの聖愛園が培ってきた「教育」の質を継承しつつも自ら保育所になる、という道を選択することにしたのです。

上記のような経過で創立された社会福祉法人路交館ですが、創立から40年を経過した2015年、聖愛園・あすなろ・北丘聖愛園の3園は新制度である幼保連携型認定こども園になりました。いうならば保育所と幼稚園の両方の機能を兼ね備えた施設になったのです。

もっとも大きな理由は、そもそも同じ年代の幼児が、保育所と幼稚園という別々の制度の下で育てられるのは「へんだ」という素朴な思いがありました。あるいは、40年前、幼稚園か保育所かと選択に迷い悩んだことがトラウマとして法人のDNAの中に残されていたのかもしれません。

これと同時に、この40年間の保育の実践、とりわけそのうちのほぼ35年間続けてきた「たてわり」保育の実践で培った、子どもたちの仲間同士での自主的な遊びの創造と伝承を大切に、子どもたち一人一人の自己肯定感や考える力を育む保育が、今こそいわゆる幼稚園対象児(新制度では1号認定児と呼ばれています)にも必要だと考えたことがあ

ります。

実際、3歳以上児の世帯での母親の就労率が50%を超えたのは久しい以前のことであり、しかも少子化はますます進んでいく中で、子どもたちが地域に帰っても仲間遊びができるだけの子どもはすでにそこにおらず、子どもたちの自主的な仲間遊びの場であり遊びの創造と伝承の場であり、お互いに知恵を出し合いながら擬似的な社会経験を積み上げる場であった「原っぱ」や「路地裏」は失われています。これらを保育所や幼稚園のような施設の中で意図的にでも作り出すほかないと考えています。

また反面では、制度としての幼稚園が積み上げてきていた良き伝統が、この40年という時間の経過の中でやや薄められてきたようにも思っています。このあたりは、幼保連携型認定こども園聖愛園・同あすなろ・同北丘聖愛園として、再構築を試みていくべきところだろうと思っています。

なお、24時間型の夜間保育所である豊新聖愛園については、一般的保育所に比べてより以上にしんどい状況におかれた親子の利用があることから、「子育て短期支援事業」などより福祉的色彩の濃い事業の実施の是非について検討を行うため、幼保連携型認定こども園への移行のための認可申請を保留していました。しかしながら豊新聖愛園についても、障害児を含むより多様な子どもたちが同じ施設(=幼保連携型認定こども園)で共に育つことが必要との当法人の原則に立ち返り、そこで必要な福祉的支援も行うという方向で、準備を進めているところです。

年頭のあいさつを兼ねて、新しい年である2016年に向けての課題と展望を書くべきところが、旧年(2015年)の制度移行のことも含めて、昔話を長々としてしまいました。

しかしながら、先人たちが現場で子どもやその親と向き合い、一步一步積み上げてきた実践の成果の上に、明日への当法人の各事業の未来と展望があると確信しています。

ここでは触れることができませんでしたが、当法人には障害児者支援の事業もあり、これらの諸事業でも、基本的には同じことが言えるのだろうと確信しています。とりわけ、2016年度には新築になった園舎での桜の園の諸事業も活動を開始します。単に建物が新しくなったというだけでなく、これまでの先人たちの取組を踏まえ、現場で障害当事者と向かい合う中で新たな支援が取り組まれるものと確信しています。

新しい年においても、読者の皆様の当法人へのご指導ご鞭撻を切にお願いします。

*「地の塩」…「イエス・キリストの言葉。イエスのついて来ようとする者は、少量で食物の腐敗を防ぐ塩のように、社会をより良くする役割を行えとのたとえ。」

ウイハッショ

「第二回東淀川区自立支援協議会交流フェスタ『みんなで和つしょい!』」

このイベントは日ごろ、同じ東淀川区にありながら、なかなか交流の持ちにくい障がい関係の施設・事業所・団体等が一堂に会して、舞台発表や模擬店などに取り組むことによって楽しい一日を過ごし、交流を深める事・地域の方々とより絆が深まる東淀川区自立支援協議会が主催するイベントです!そして昨年度に引き続き11月21日(土)に第二回目が開催されました!路交館からも「ウイハッショ」「ほっとコミュニティういる」が模擬店や舞台に参加し様々な方々と交流を経験してきました!

その日の様子をどうぞご覧ください☆

ゲゲゲの鬼太郎班は、11月21日(土)に開催された「みんなで和つしょい」祭りに参加してきました。一年をかけて取り組んでいる音楽活動の成果発表も兼ねて、舞台に立ち、大太鼓とシンバルを使った演奏会をさせていただきました。曲目は「We Will Rock You」/Queenと「RPG」/SEKAI NO OWARIです。会場の人々の多さに圧倒され、ギリギリで舞台に立つことが出来なくなったメンバーさんも居ましたが、それも払拭すべく鬼太郎班メンバー5名(職員3名)でしっかりと演奏してきました!

大きな舞台での演奏は初めてだったのですが、演奏が終わるとみなさん良い表情で満足そうに「しんどかった〜」「緊張したけど楽しかったわ」と話されていました。

メンバーさん一人ひとりにとっても、鬼太郎班にとっても、良い経験になったと思います。

ありがとうございました♪

文責: 安達



ほっとコミュニティういる

11月21日(土)に今年で2回目になる東淀川区の事業所や地域の方の交流を目的とした自立支援協議会主催のフェスタ「みんなでわつしょい」がありました。ほっとコミュニティういるはキャラメルポップコーンを販売させていただきました。400人ぐらいの人が集まる中、「コーンの量はどれぐらい?キャラメル粉は?」「あかん!!コゲた!!」「今度はウマくできたわ(笑)」とポップコーン機と大奮闘!!たくさんの人にお買い上げいただきほっとメンバーも良い経験になりました。メンバーさんからは早くも「来年も参加したいなあ」とうれしい声があがっています!

文責 阿部良規

幼保連携型認定こども園 北丘聖愛園

「いつも ありがとう~!!」北丘の勤労感謝



11月23日は勤労感謝の日です。日頃から子ども達のことを見守ってくれたり、園内をキレイに掃除していつも気持ち良く過ごさせてもらっている方達がたくさんいます。普段なかなか気持ちを伝える機会がないですが、いつも支えてもらっている人達がいるということを知り、感謝の気持ちを伝えるために、言葉だけでなく各クラスで気持ちのこもったプレゼントも作りました。北丘の園医さん、北丘の看護師さん、おいしい給食をつくってくれる給食室の大人、リネンの大人…気持ちを伝える時は少し照れくさい様子もありましたが、きっと子ども達の気持ちは届いたのではないかと思います。1つ1つの祝日の意味を全ては分からなくても、「こんな日があるんだな」ということを少しでも感じてくれたら嬉しいな、と思いました。



文責: 宮下絢子

幼保連携型認定こども園 聖愛園

2015年度は、会場「ココプラザ」での初の発表会となります！！

11月26日のリハーサルでは聖愛園から会場まで子どもの足でなんと1時間かけて往復しました。しかし、思ったより子ども達は元気で、街並みを楽しみながら会場まで歩いていましたよ！！

初めての会場にもかかわらずこどもたちは堂々と練習してきた

劇や、手話、合奏そしてゆりさん(5歳児)さんはヒストリーをやりきっていました。初めての場所での歴史を刻む3・4・5歳児さんにとっては12月11日は特別な日となるでしょう。



帰りも元気に
しゅっぱーつ！

ヒストリーも舞台だと
更に気合が入ります



初めての舞台に少しときどき！
のいずみさん♪(3歳児)



ういず守口・滝井 ミュージカル in 路交館フェスタ

今年のミュージカルは「しらとりの湖」＆「はくちょうの湖」の2部構成！！

最初の頃の「みんなで体を動かしてみよう」から「楽しく踊ってみよう」、「演じて踊ろう」となり、今回はメン

バーも増え、前半と後半に分けて、それぞれが、個性に応じた役割を持ちストーリーに沿って演じ踊り、自分達だけでなく、観客の方々にも見て楽しんでもらえるように全員で練習してきました。衣装を着て本番が近づくにつれメンバーも職員も ソワソワ、ドキドキの大緊張の様子でしたが、舞台に立つと楽しく生き生きと動き、みんなが笑顔で踊れた舞台となりました。



「飛びます！飛びます！白鳥がー」



「笑顔♪でばんざーい☆」



「決めのポーズ！イエーイ☆」



「ぞーれ魔法をかけるぞー」

保育所豊新聖愛園

風船700キロの旅路

昨年(2015)の10月に豊新聖愛園うんどうかいが行われ、10周年を記念をみんなで100個の風船を飛ばしました。その風船が5日間かけて、なんと！700キロも離れた福島県までたどり着いたのです！拾った方からお返事も頂きました。1つの小さな風船が繋いでくれた10周年にふさわしい素敵な奇跡でした。



ビバ! ハロウィンパーティー!!

毎年恒例の子ども夏祭りですが、10周年ということで“子どもカーニバル”と題してみんなでハロウィンの仮装をしました！異年齢のグループに分かれて魔女やガイコツ、こもりなどに変身！「トリックオアトリート！」と大人を驚かせてお菓子をたくさんGETしていましたよ！



桜の園

♪花の植え付け交流♪

桜の園では、守口市内の幼稚園と小学校に年2回、花の植付け交流を行っています。

春にはマリーゴールド、秋にはパンジーの花の苗を種から育てて利用者さんと生徒さんが一緒に植付けをしています。今回はパンジーを5000株を用意し小学校には149株、幼稚園には92株を植えつけます。植付けの時には、小学生さんとの交流もあり1円玉落としやマジックBOXを披露してくれたり、ジャンケン列車などのゲームや歌や笛の演奏など各学校で考えられた企画でメンバーさん達と交流を楽しんでいます。



横切り植えたモノを誤って踏んでしまい生徒さん達から「踏んでー」などのつつこみもあつたりと楽しい花交流の時を共に過ごしたりしています。



マジックBOXは箱の中に手を入れ目で見ないで手の感覚で物体を当てるとい

う物でメンバーさん達はスポンジ・のり・石鹸等ヒントはあったものの3連続で正解され満足感でいっぱいの方もおられました。1円玉落としもお皿が大きかったという事と小学生達に「ここ落としたら入るよ！」等の協力のもとたくさん1円玉をお皿に入れる事が出来ました。

花交流では事前に小学生達に解りやすくイメージのしやすい写真等を貼り付け作成したロール紙を基にメンバーさんが説明してくれます。

植え付けでは、生徒さんたちと一緒に植え付けをしますが、花壇を横切り植えたモノを誤って踏んでしまい生徒さん達から「踏んでー」などのつつこみもあつたりと楽しい花交流の時を共に過ごしたりしています。

文責 内田 圭二

さくらんぼルーム

さくらんぼルームでは、勤労感謝の日になんで、子どもたちから、“いつもお仕事ありがとう”の気持ちを込めて、わかさの給食室の井尾さん、ドライバーの甲斐さん、送迎委託をしている『山口バス』のドライバーさん、嘱託医をお願いしている鈴木先生に、プレゼントをしました。子ども



『いつも美味しい給食ありがとう♡』

もたちが画用紙に『芋版』でかわいく色づけしてもらい、素敵な賞状ができました♪子どもたちは普段は気軽に接している相手ですが、「いつもありがとう」とプレゼントを渡す時は、もじもじと、どこか恥ずかしそうな様子でした(笑)

『自分たちのことを、こんなにたくさんの人たちが見守ってくれているんだ』そんなことを少しでも感じてもらえたらと思います。

文責 樫本 勝一



『毎日、安全運転ありがとう♡』

ポプラ

ポプラでは、12/19(土)のポプラ展で製作するサンタマリア号を見に、天保山周辺へ外出活動に行っていました。前日から天気心配でしたが、「俺は晴れ男やから大丈夫やな!」とメンバーさんが言っていた



通り、天候は何かもちなおしてくれました。海を見ながらおにぎりを食べました。サンタマリア号を見ながら「この部分はどんな材料で作れるかな

〜。」「色んな国の国旗が付いてる!」と作品作りのアイデアも膨らみました。その後、日本一低い山という天保山へ…登頂!した途端、雨が降り出し下山。みんなたっぷり歩いた1日でした。現在、ポプラ展に向けて、みんなでサンタマリア号を作成中です。



みんなの笑顔がいっぱい♪路交館フェスタ♪

11月3日(火・祝)に開催した「路交館フェスタ」

舞台では桜の園の建設募金のマスコットさくらちゃんも登場したり、それぞれの施設が歌や踊り太鼓など披露したたくさんの拍手をいただきました。

たくさんのお客さんでにぎわい、地域の方々や路交館の利用者ご家族の方々と職員とが、笑顔を交わし、言葉を交わし楽しい時間を一緒に過ごすことが出来ました。また来年も皆様の笑顔に会えるのを楽しみにしています。

たくさんのご来場ありがとうございました。

文責 路交館フェスタ委員会 中川



路交館 これからの予定

聖愛園・地子セ・あすなろ

1月7日(木) ゆりクラブ発足
1月9日(土) 新春もちつき大会
1月16日(土) 0・1・2歳児生活発表会
1月21日(木) おうちワクワクデイ
1月23日(土) 5歳児ゆめいっぱいコンサート

2月3日(水) 節分集会
おうち節分
2月26日(金) ゆりありがとう会&懇親会
(あすなろ)

3月12日(土) 卒園式
3月14日(月)～3月18日(金) 春休み(1号認定)

4月1日(金) 入園式

北丘聖愛園

1月9日(土) 親子もちつき大会
1月23日(土) 5歳児ゆめいっぱいコンサート

2月1日(月) 作品展週
2月3日(水) 節分豆まき

2月16日(火) マラソン大会

3月10日(木) きりん(5歳児)お別れ会
3月12日(土) 卒園式
3月14日(月)～3月18日(金) 春休み(1号認定)
3月25日(金) 修了式
3月28日(月) クラス移動

4月1日(金) 入園式

豊新聖愛園

1月9日(土) 餅つき大会
1月12日(火) 作品展(16日まで)
1月23日(土) 5歳児ゆめいっぱいコンサート
1月29日(金) 3・4・5歳児お別れ遠足

2月3日(水) 節分集会
2月4日(木) ゆりお別れ遠足
2月13日(土) やんちゃっこ広場(0・1・2歳児)
2月26日(金) おひさま・そらお別れ遠足
2月27日(土)・28日(日)
全国夜間保育所経験交流会(東京)

3月4日(金) 2歳児おでかけ

3月5日(土) 0歳児やんちゃっこ広場
3月10日(木) ゆりさんとのお別れ会
3月12日(土) 卒園式
3月23日(水) 進級式

4月1日(金) 入園式

子ども館

1月30日(土)～31日(日)
つくしクラブ思い出旅行

2月13日(土)～14日(日)
杉の子クラブスキー旅行

3月5日(土) つくしクラブ卒室式
3月26日(土) 杉の子クラブ卒室式

わかくさ

さくらんぼルーム
2月 節分の集い

ボブラ
1月17日(日) 摂津淀川マラソン大会
2月20日(土) 外出活動(バイキング)
3月12日(土) 卒室式

給食室おすすめレシピ

鮭のコーンクリーム焼(4人分)

材 料

生鮭……………50g(4切)
塩・コショウ ……少々
小麦粉……………16g(大2)
クリームコーン缶……………100g
マヨネーズ……………60g(大4)
パセリ……………少々



- ① クリームコーンとマヨネーズを混ぜ合わせておく。
- ② 鮭に塩・コショウをふる。
- ③ 小麦粉をかるくつける。
- ④ 200℃のオーブン(または、フライパン)で、7分程度焼く。
- ⑤ 一度、出して①のコーンクリームを鮭にのせて、再度2～3分焼く。

★後援会加入&寄附のお願い★

路交館後援会へ加入のお願いです。会費は一口1,500円からで、あいどるの郵送料などに使わせていただきます。後援会費は入金日より1年間有効です。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、当法人の保育・活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。お寄せいただいた寄附金は、利用者の皆様への更なるサービスの充実、各施設の施設・設備整備等にさせていただきます。桜の園が建替工事中です。ぜひとも、皆様からの暖かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

※どちらも同封の払込用紙を使っていただければ、手数料は当法人負担になります。

編集後記

今回も写真満載で、皆さまお楽しみいただけましたでしょうか?今年度のあいどるは、この号が最後になります。今後とも路交館をよろしくお願いいたします♪

編集担当 あいどる委員 樫本 勝一

寄附のお願い

社会福祉法人 路交館では、当法人の保育・活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。

聖愛幼稚園であった 1972 年に障がい児 2 名を受け入れて以来、路交館はもっとも困難な立場に立たされている子どもや大人にまなざしを向けて寄り添うことを法人の活動の基本として「障がい児共同保育」に取り組んできました。

その後も、深夜に保育が必要な子どもたちのために「夜間保育」、保育所を卒園した子どもたちのためには「学童保育」を、学校を卒業してからの障がい者の生活・就労を支援するために「障がい者社会参加支援事業」と事業を展開し続けております。

現在、多機能型事業所「桜の園」が建て替え工事中です。

10 月 22 日に上棟式を執り行い、建て替え工事は順調に進んでいます。

お寄せいただいた寄附金は、利用者の皆様への更なるサービスの充実、各施設の施設・設備整備等に使わせていただきます。

ぜひとも、皆様からの暖かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

寄附金の振込先

★郵便振替

振替口座：00980—3—314818

加入者名：社会福祉法人路交館

「桜の園」建替えに向けて、専用の口座を設けました。

振替口座：00900—8—306828

加入者名：社会福祉法人路交館 桜の園

※どちらも添付の用紙をゆうちょ銀行にお持ちください。手数料は当方負担になります。

*入金確認後、領収書を発送いたします。

税務署への申告の際は、当法人発行の領収書を添えて提出して下さい。

寄附に対するお問い合わせ先

社会福祉法人路交館 財務部

TEL：06-6321-3955

FAX：06-6325-6320

メールアドレス：soumu@rokoukan.or.jp

